

2023 年度 事業計画 (案)

全国科学館連携協議会（連携協）は、地域における科学技術普及の拠点である科学館等の連携促進を図り、科学館事業の振興に寄与することを目的として設立され、各種連携活動を展開しています。

1. 協議会運営

1-1. 会員管理

加盟館に有用な取り組みや、ホームページ、メールマガジン等による加盟館への情報提供を充実し、会員の活動を活性化を図ります。

1-2. 会議の開催

(1) 第33回全国科学館連携協議会幹事会

開催日：2023 年 5 月 26 日（金）

開催方法：オンライン開催

(2) 第33回全国科学館連携協議会総会

開催日：2023 年 6 月 26 日（月）

会場：日本科学未来館（オンライン参加可）

2. 加盟館連携推進

2-1. 巡回展示物等貸与支援

加盟館に対して、下記 17 種類の巡回展示物および 2 種類の実験キット等の貸出募集を行い、日程等を調整し実施協力を行います。

[巡回展]

1. 【新規】土からわかる防災のおはなし（名古屋市港防災センター）
2. 宇宙をさわる（企画・製作：明石市立天文科学館）
3. かるたでよみとく わたしと世界のつながり（企画・製作：日本科学未来館）
4. 環境DNA 博士と、水辺の生き物を調査せよ！（企画・制作：日本科学未来館）
5. 海と生きものとわたしたち ～3.11 からの復興をめざして～（企画・製作：東北マリンサイエンス拠点形成事業—海洋生態系の調査研究—Tohoku Ecosystem-Associated Marine Sciences (TEAMS(ティームス))
6. 急変する北極が世界にもたらす影響と日本の北極研究の取り組み—Our activity in the Arctic— ※データ提供（企画・制作：北極域研究推進プロジェクト (ArCS)）

7. こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版（企画・制作：JAXA）
8. 金星探査機「あかつき」（企画・制作：JAXA）
9. いのちってなに？（企画・制作：農研機構）
10. 星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～（企画・制作：明石市立天文科学館）
11. ケミカルパズル&ケミカルすごろく—化学物質と上手につきあおう！—（企画・制作：環境省）
12. 日本の宇宙科学の歴史（企画・制作：JAXA）
13. 潜水調査船がみた深海生物（企画・制作：JAMSTEC）
14. SDGs（持続可能な開発目標）クイズボード（企画・制作：JICA）日本の宇宙科学の歴史（2017年改訂）（企画・制作：JAXA）
15. 星の衝突で、何ができた？ ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
16. 62の「月」が織りなす多彩な世界—土星探査機「カッシーニ」が見たリングと衛星群— ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）
17. ノーベル賞 ※データ提供（企画・制作：日本科学未来館）

[実験キット]

1. 実験キット「マッスル・センサー」（企画・制作：生理学研究所、JST）
2. 実験キット「超伝導」（企画・制作：日本科学未来館）

2-2. 事業に対する後援、メッセージ配信

加盟館および関係機関が実施する事業で、連携協の設立趣旨に合致する事業に対し、後援や協力および会長メッセージの提供を行います。

2-3. ブロック活動

ブロック内での加盟館の交流を深め、リソース（人、展示物、情報など）の情報共有・相互補完等、良好な関係を構築するためのブロック会議ほかブロック活動を実施します。2023年度は、コロナ禍で困難だった加盟館同士のコミュニケーションを促進し、科学館ネットワークづくりを図るため、ブロック活動支援の助成額を増額するとともに、幅広い交流活動に活用できるよう予算使途についても適用内容を拡大します。実施後に各ブロックからの申請内容を確認し助成金の支払いを行います。

2-4. 国内科学館研修

加盟館の活動の一層の充実を図るため、国内科学館研修を実施します。

開催日：2023年度内に2回程度実施（2023年10～11月及び2024年1～2月頃開催予定）

開催方法：オンライン及び実地開催

対象：正会員、協力会員、協賛会員

テーマ：リニューアル館の視察、事例発表・意見交換会など

2-5. 海外科学館研修

2023年度は、近年の物価上昇・燃料費高騰の影響によるコストパフォーマンスの悪化やポストコロナの活動回復状況を踏まえ、加盟館における運営、展示、教育プログラム等の充実を図るための、合理的な海外研修や調査・研究等のあり方について検討を行います。

2-6. 相互人材交流事業

各加盟館がもつノウハウやスキルを相互に学び合う機会を創出し、更にスタッフのスキルアップや科学館同士の連携活動に繋げることを目的に、館の垣根を越えた相互人材交流を実施します。2023年度については、加盟館同士のコミュニケーションを促進のため本事業を再開し、8月頃に実施希望館の募集を行います。

2-7. 新規巡回展示物・データ提供展示物制作への支援

巡回展の更なる活性化を目指し、加盟館による巡回展示物制作を支援する活動を行います。2023年度については、複数の館による共同提案を可とするとともに上限額を40万円とし、7月下旬頃に募集を開始する予定です。

3. 協賛事業

協力会員、協賛会員、外部機関からの協賛については、加盟館にとってメリットのある形で協賛金、協賛物品・貸与品、イベント情報等を積極的に展開します。

[協賛物品等]

協賛会員のマブチモーター株式会社より協賛を得て、加盟館に対してモーターの提供を行います。また、提供物品のほか、協賛品の活用事例などの情報も共有します。

以上